

## インドネシア活動報告⑩

株式会社マジオネット

JICA 青年海外協力隊 2016 年度 2 次隊

山口 麗子

### 【今月(12/15～1/15)の活動】

- ・学校巡回(計 5 回) ・大学生エコツアー同行 ・ごみ銀行訪問(計 4 回)
- ・アディウィヤタコンテスト委員会会議 ・ごみ処理方法講習会 ・日本語教室(計 3 回)
- ・活動中間報告会、JICA インドネシア隊員総会

#### ◎学校巡回

先月報告した通り、12 月下旬は学校の休暇期間であり、1 月初旬も学校始めて授業が早々に終わるということで 2 週目から授業を開始した。また、今年から授業の実施方法を変更したので、今月初旬に対象校である 3 校へ事前説明の為の訪問のみ行った。

#### ◎大学生エコツアー



12/21、NPO 法人ゆいツールの企画で日本の大学生 7 名がロンボクにエコツアーでやってきた。ツアーは 1 週間ということであったが、都合上 1 日だけしか参加することができなかった。その日は西ロンボク県にある最終処分場とごみ銀行へ行き、ロンボクのごみの現状を知ってもらった。自身は補足説明を行ったり、移動中や食事の時間に協力隊の活動について話を行った。アクティブな学生が多く、自身も刺激を受けることが多々あった。

#### ◎ADIWIYATA コンテスト委員会会議

普段行っている学校巡回は ADIWIYATA(環境学校を表彰する制度)で受賞するための活動の一つである。しかし、この 1 年間、環境局・学校のどちら側をみてもこのコンテストに参加しようという意気は見られなかった。それは、ここ 5 年程西ロンボク県が ADIWIYATA へ参加しておらず、参加方法をよく理解している人物がいないということが原因だということが最近になって分かった。

そこで、過去の受賞校を訪ねて話を聞きにいくと、会議の必要性を配属先に提示してもらうこと



ができた。配属先も理解し、1週間後には委員会として学校長を呼び会議を開くことができた。ADIWIYATA コンテストへ参加できるよう、引き続きサポートを続けていきたいと考えている。

#### ◎ごみ処理方法講習会

1/15 Sigerongan 村にてコンポストとごみの分別に関する講習会を行った。新品の分別用ごみ箱が用意されており、これからごみ問題に対して村がしっかりと取り組んでいこうとしている様子が伺えた。住民からの質問で、過去ごみ問題や公害などの環境問題を抱えていた日本がどのようにして克服していったのかも訊ねられ、日本のことを伝えることもでき良い意見交換の場ともなった。



コンポストの為の培養液の作り方を説明しているところ。

#### ◎活動中間報告会、JICA インドネシア隊員総会

1/10～1/14までジャカルタに上京し、活動中間報告会や総会に参加した。活動中間報告会は、中央省庁や関係機関の役人も出席しており、報告によって自身の活動に興味を持ってもらうこともできた。JICA 隊員総会では前回継続審議となっていた規約の事項について話し合ったり、次回総会に向けた議題の話し合いが行われた。その他、JICA 隊員機関誌とカレンダーも無事にこの期間で発行することができ、帰任と同時に委員長としての活動を終えることができた。

#### 【日常生活について～日本人会もちつき大会～】



12/28 日本人会主催での餅つき大会が行われた。年末に毎年行われているもので、日本人会の会員以外の関係者や日本語クラスがある高校生なども招待され、参加している。会では餅だけでなく、手作りのお好み焼きやそばなどの日本食も食すことができたり、福笑いや日本の手遊びを行ったりとイベント満載の会であった。私自身は今回、餅つきの返し手として様々な方が餅つきを体験するサポートを行った。真夏の気温の中で行う餅つきで

あったので汗が止まらなかったが、貴重な体験となった。

#### 【交通面について～高速道路～】

今月は、ジャカルタに上京する機会があったが、空港から市内に向かう際にはいつも高速道路を経由している。インドネシアでは ETC はまだ普及していないが、昨年より現金払いができなくなり、高速専用のプリペイドカードを使用しなければ通行できなくなった。それでも渋滞は変わらないが、1年前より確実にジャカルタも変わってきており、今後が楽しみである。